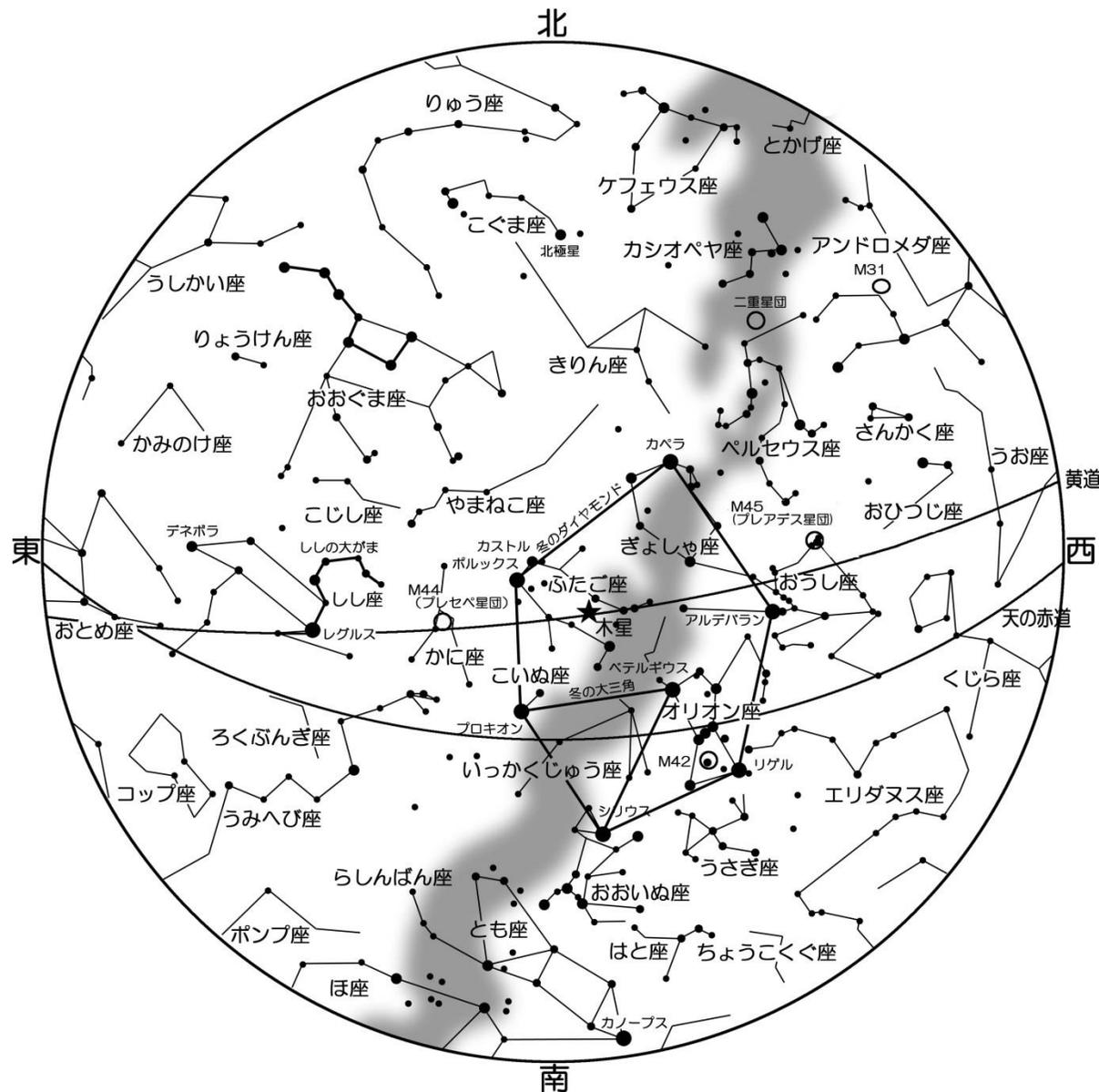


# 平成26年 3月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



## ★3月の星空案内

3月の星空を眺めると、西の空には冬の星座たちが、そして東の空には春の星座たちが姿を見せています。冬の星座さがしはオリオン座からスタート。1列に並んだ3つの星“三つ星”と、それを取り囲む4つの明るい星たちが目印になります。そのオリオン座の左上で輝くのが1等星のベテルギウスで、右下で輝いているのが1等星のリゲルです。“三つ星”を北西の方にのばすとオレンジ色に輝くおうし座の1等星アルデバランに、そしてさらにのばすと青白く輝く星の集団 M45・プレアデス星団(すばる)にぶつかります。反対に“三つ星”を南東の方にのばしていくと恒星で最も明るく輝くおいぬ座の1等星シリウス(-1.5等)にぶつかります。またオリオン座の東側に、シリウスよりも少し暗いこいぬ座の1等星プロキオンが見られます。このプロキオンとシリウス、ベテルギウスを結んでできる大きな三角形を“冬の大三角”といいます。オリオン座の北側、ちょうどオリオンの頭上でやや黄色っぽく輝いているのがぎょしゃ座の1等星カペラで、そのカペラの東側に明るい星が2つ並んだふたご座が見られます。左側の明るい星が1等星のポルクス(弟)で、右側が2等星のカストル(兄)です。また、これらの冬の6つの1等星を結びと、“冬のダイヤモンド”となります。

東の空に見え始めた春の星座たち。中でも目を引くのは、7つの星がちょうどひしゃくのような形に並んだ“北斗七星”です。“北斗七星”はおおぐま座の腰からしっぽの部分です。このおおぐま座の頭の上には、北極星を含むこぐま座が見られます。そしておおぐま座の南側に?マークをうら返したような星の並びがあります。その並びがしし座で、?マークの・(点)にあたる星が1等星のレグルスです。星がよく見えるところでは、しし座の?マークの右あたりにぼうつと見えるプレセペ星団(M44)、またそれを囲むように少し暗い4つの星が四角に並んでいるかに座が見られます。

このように、3月の星空は大変にぎやかです。まだまだ寒い日が続きますが、ほんのわずかな時間だけでも星空を眺めてみませんか? きっと冬と春の星たちが皆さんを迎えてくれることでしょう。

### < 現在見える惑星 >

水星: 0.3等前後	みずがめ座付近	夜明け前	東南東の空低く(中旬頃まで)
金星: -4.5等前後	いて座→やぎ座付近	夜明け前	南東の空
火星: -0.9等前後	おとめ座付近	23時頃	東南東の空
木星: -2.3等前後	ふたご座付近	20時頃	南の空
土星: 0.4等前後	てんびん座付近	夜明け前	南南西の空

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	土	● 新月 (17:00)	21	金	春分 (01:57) 太陽黄経 0°
7	金	おうし座でヒヤデス星団と月が接近	23	日	金星が西方最大離角 (04:31)
8	土	☾ 上弦 (22:27)	24	月	☾ 下弦 (10:46)
14	金	水星が西方最大離角 (15:30)	28	金	明け方の東の空で金星と月が並ぶ
17	月	○ 満月 (02:08)	31	月	● 新月 (03:45)